



## 恒例のタナカファームイベント

6月18日(土)恒例のタナカファームイベントには、県人会からは4月に被災された熊本県、そして、東北の3県が参加しました。

他の県人会同様に、岩手県人会ブースがある丘の上には、丈夫でしっかりとしたテントで、日陰も有り、風通しが良く、主催団体から過ごしやすい空間をご提供いただき、バンドも入り、とても雰囲気も良かったです。

岩手県人会ブースのボランティアは7人でその内3人が岩手県出身とその友達4人でした。岩手県人会ブースが盛り上がり、大盛況に終わったのもボランティアの皆さんのお力をお借り出来たからだと思います。本当に有難うございました。

ボランティアの皆さんには入場料を\$30払ってもらい、人力も使って頂いたにもかかわらず、とても楽しかったというコメントを頂き、涙が出るくらい嬉しかったです。イベントも大盛況、岩手県人会ブースも大盛況、来年も復興のお手伝いを岩手県人会として参加したいと思います。

主催団体のグレーン・タナカさんをはじめ、イベントに関わった多くの皆さんのお陰で、今年は義援金の一部を岩手大学農学部に送って頂く事が決まっており、グレーンさんや関係者の皆さんにも、この場をお借りして南加岩手県人会より感謝の気持ちを申し上げます。

(提供: 小野寺盛浩)

# 佐賀の夕べ

7月14日(木)午後6時からハンコックパークにある在ロサンゼルス日本国総領事公邸で佐賀県の特産品を紹介するイベントが開催された。このイベントは佐賀県の大和酒造がIWC(International Wine Challenge)で金賞を受賞した自社ブランドの日本酒をお披露目する為に主催、在ロサンゼルス総領事館がホストとなり実現した企画である。

日ごろから佐賀県に関わるイベントには積極的に参加している我々南カリフォルニア佐賀県人会からも沢山のメンバーがかけつけサポートしてくれた。

この日、招待客の他、スポンサー、メディア、県人会関係者を合わせると200人以上の方がイベントに出席された。今回のイベントは堀之内総領事夫妻にとってロサンゼルスでの任期中最後の行事という事もあり、出席者と名残惜しそうにお話をされていたのが印象的であった。

会場では大和酒造のお酒3種類、佐賀牛、そば、ラーメン、お茶、お米、ゴマのお菓子など佐賀県産の食材が

多く紹介され参加者も料理を美味しく味わっていた。また佐賀県人会メンバーが中心となりバンド生演奏をし、会場に華を添えた。

今回の主催者である大和酒造は著者が幼少時代に過ごした佐賀市大和町にあり、幼いころから目にしていた名前なのでとても親しみのある酒造である。今回アメリカへの輸出が決まり近い将来、地元のお酒が日系スーパーで購入できるという事でワクワクしている。

大和酒造の北島社長のスピーチにもあったが、「和食」がユネスコの世界文化遺産に登録され、日本酒の需要も日に日に高まり、世界各地から引き合いがきているそうだ。大和酒造の日本酒は比較的甘いという事でフランスでも人気が出てきている。アメリカ国内に限らず、世界各地に日本の高品質な商品、食材、お酒が流通してくれる事を願っている。

南カリフォルニア佐賀県人会  
飯盛 裕介



幾山河へのご意見やご感想をどうぞお寄せ下さい。(Mike Kamimoto : mikekamimoto@yahoo.comまで)  
「[www.JPASC.org/media.html](http://www.JPASC.org/media.html)」Ikusangaをクリックしてダウンロードできます。 JPASC 幾山河編集部